

無憂樹

仏教三大聖樹

令和6年3月号

浄尊寺

熊本市西区田崎

1-4-39

TEL・FAX

096-354-6530



せんげつ がつ たち かいさい
先月2月1日から開催されて
いる「くまもと春の植木市」に行
きました。私も毎年楽しみに
しているのですが、日本三大
植木市の一つで400年以上の
歴史があるそうです。そこで
今年は暖冬で春に咲く花の
開花がはやまるかもしれないと
聞きました。春を通りこしてす
ぐ暑くならないといいのです
が……

ていますが、無憂樹・インド
菩提樹・沙羅双樹の3つの樹で
す。
まずはお寺だよりの表題にも
しておりますが「無憂樹」。お
釈迦さまの母親であるマヤー
夫人がお釈迦さまを出産した
のが4月8日ルンビニーの無憂樹
の樹の下でした。英名でアショカ
と呼ばれています。「憂い無し」
という意味で名前の由来といわ
れています。インドでは結婚、
出産、誕生などに関わる
「幸福の木」とされています。お

釈迦さまは生まれてすぐに7歩
歩いて「天上天下唯我独尊」と
言われたと伝えられています。
ただ自分だけが尊いという教
えではなく、すべてのいのちそれ
ぞれがそれぞれに尊いと教え
てくださっております。
次に当寺でも育てております
がインド菩提樹。お釈迦さま3
5歳の時、苦行の末12月8日
ブツダガヤの菩提樹の樹の下で
悟りをひらかれました。サンスク
リット語で悟りという意味のボ
ーデーという言葉が菩提樹の
由来といわれており、インドの
国樹になっています。育ててみて
わかるのですが、やはり寒さに
弱いので冬には保護が必要にな
ります。いつか花がみれるよう

に育てたいと思います。
最後に沙羅双樹。お釈迦さま
は80歳の時クシナガラで2月1
5日に入滅(お亡くなりになら
れた)されました。その時に2本
並んだ沙羅の樹の下だったこと
から、これに由来して双樹がつい
たそうです。お釈迦さまが亡
くなる時は沙羅の樹は花が咲いて
いたのですが、お釈迦さまが亡
くなられたら沙羅の樹は枯れて
白くなりお釈迦さまを供養す
るように花びらが舞い散ったと
いわれています。
その他にも仏教にゆかりのあ
る花や植物は多くありますが、
まずはこの春に咲く花や植物
に目をむけてみたいと思いま
す。